

親と子 現状と課題

親と子の健康づくりは生涯を通して健康な生活を送るための出発点であり、次の世代の担い手を健やかに生み育てるための基礎となります。

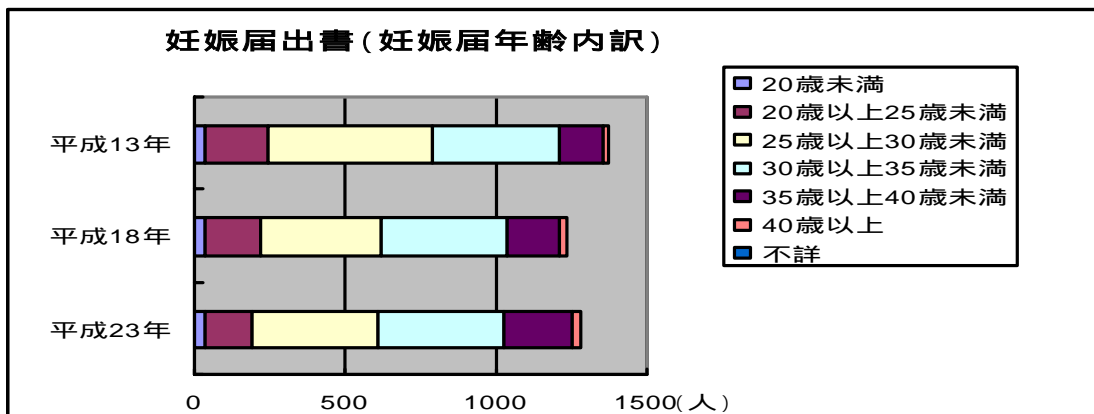
健康な次世代を育てるために思春期、妊娠期、子育て期へと繋がりのある健康づくりが必要です。

1 妊娠・出産をめぐる現状について

若年者の妊娠は精神的に負担が大きばかりでなく、経済的にも育児力の面においても、未熟さから、育児困難な状況におかれる場合が少なくありません。また、低出生体重児や妊婦喫煙率なども増加しています。妊娠前、妊娠期の心身の健康づくりは、子どもの健やかな発育に繋がります。安全で健やかな妊娠出産ができるためには、思春期からの健康づくりや妊娠中の健康管理が大切です。

若年妊婦、高齢妊婦が増加しています。

未成年の妊娠届出数は、平成 23 年度は 35 人(2.5%)であり、平成 18 年度は 46 人(3.0%)でした。また、35 歳以上の妊娠届出数は、平成 23 年度 257 人(18.3%)で、平成 18 年度 238 人(15.8%)と比べ、増加しています。

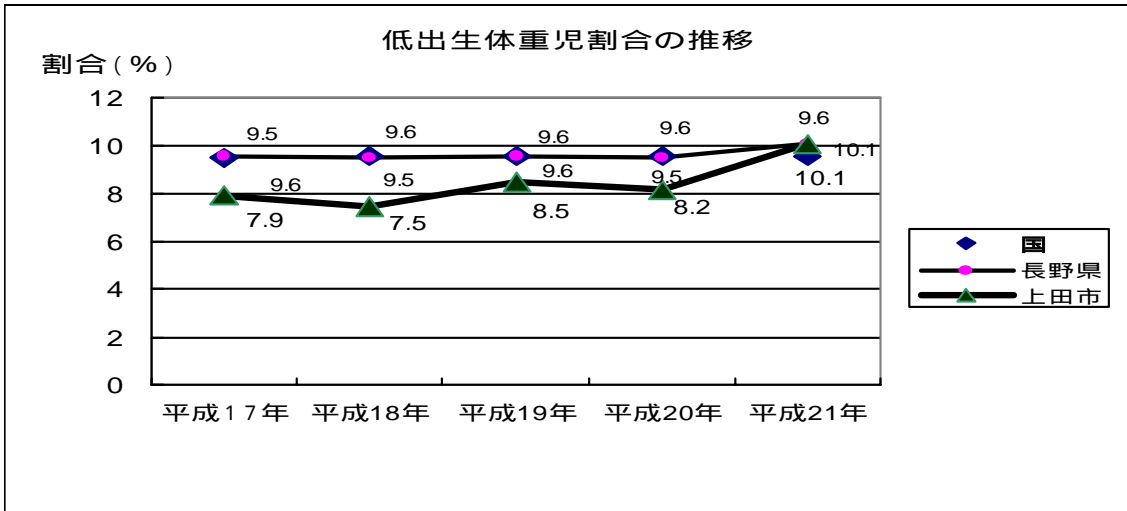


健康推進課「H23年度保健業務と衛生統計」

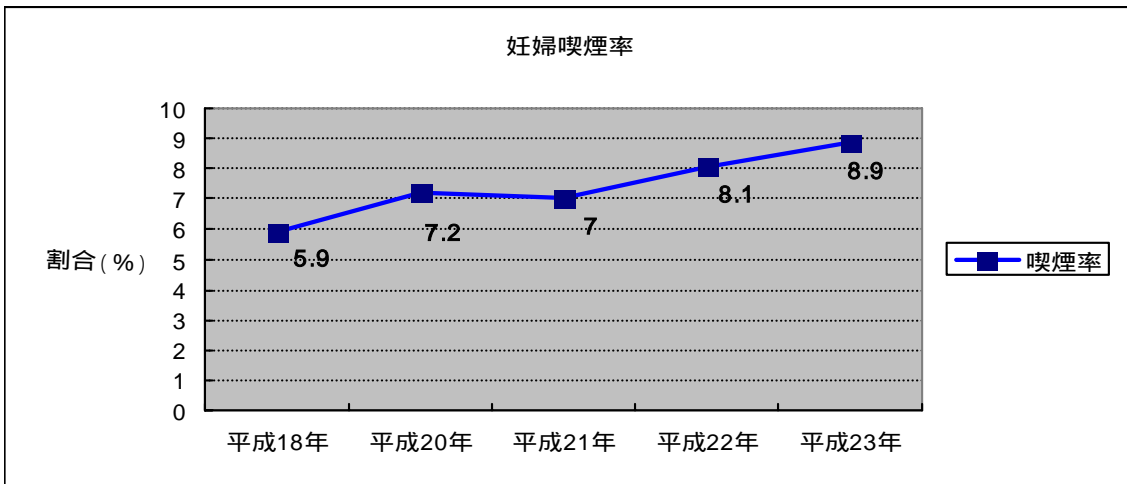
低出生体重児の出生率とリスクの一因である妊婦喫煙率が増加しています。

低出生体重児は、平成 18 年度 105 人(7.5%)で、平成 21 年度 125 人(10.1%)であり、ここ数年増加傾向にあります。また、妊婦喫煙率は、平成 18 年度 5.9%であり、平成 23 年度では 8.9%と増加しています。低出生体重児は、神経学的・身体的合併症の他、成人後に糖尿病や高血圧等の生活習慣病を発症しやすいとの報告もあることをふまえ、胎生期からしっかり体づくりができるよう、妊娠中から健康づくりをしていくことが大切です。

また、喫煙は、流産、早産、低出生体重児のリスクとしてあげられており、胎児に及ぼす影響を考えると妊娠期からの健康管理が重要です。



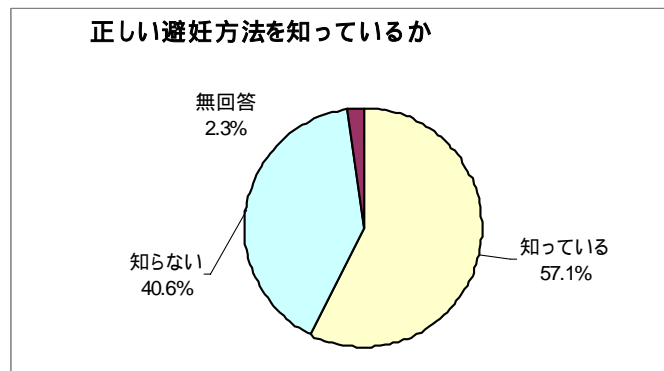
「長野県衛生年報、厚生労働省人口動態調査」



健康推進課「H23年度保健業務と衛生統計」

避妊方法を知っている高校生の割合はまだ不十分です。

正しい避妊方法を知っている高校生の割合は、57%でした。認知度が高いとは言えないため、引き続き啓発が必要です。



平成23年度「健康づくり計画策定のためのアンケート調査」

2 子どもの成長発達について

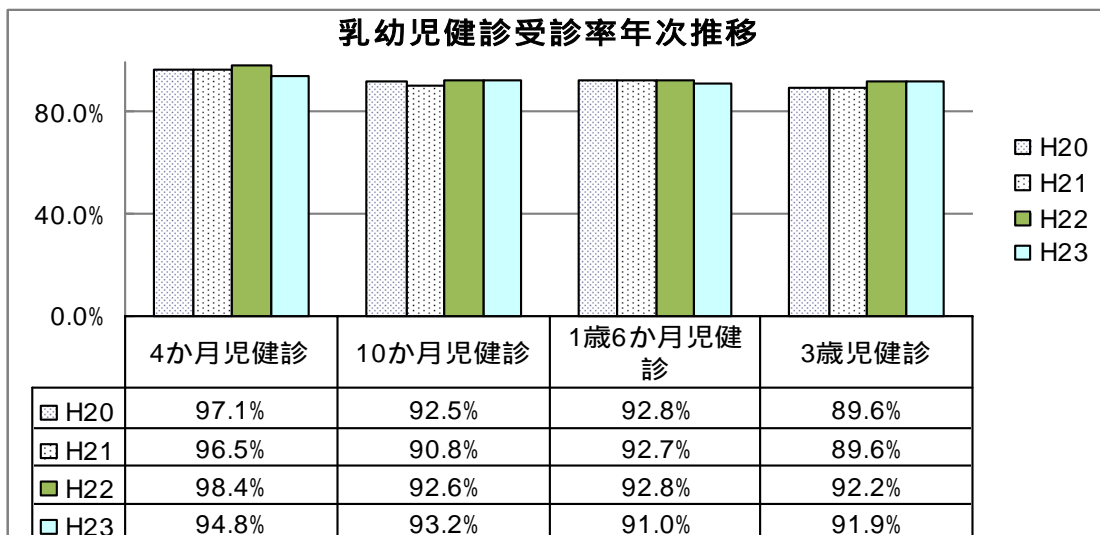
すべての子どもが健康に成長できるよう、疾病の早期発見、発育や発達の確認を行うと共に、個々の成長や発達に応じた関わりや生涯、健康で過ごすための基本的な生活リズムや食生活などについて具体的に伝えていく必要があります。

また、安心して育児ができるために一人ひとりの成長に添った支援体制があることも重要です。

乳幼児健診受診率は高め、横ばいですが未受診者の把握や対応も今後重要な課題です。

受診率は、ほぼ横ばいですが4か月健診に比べると他の健診はやや低めです。

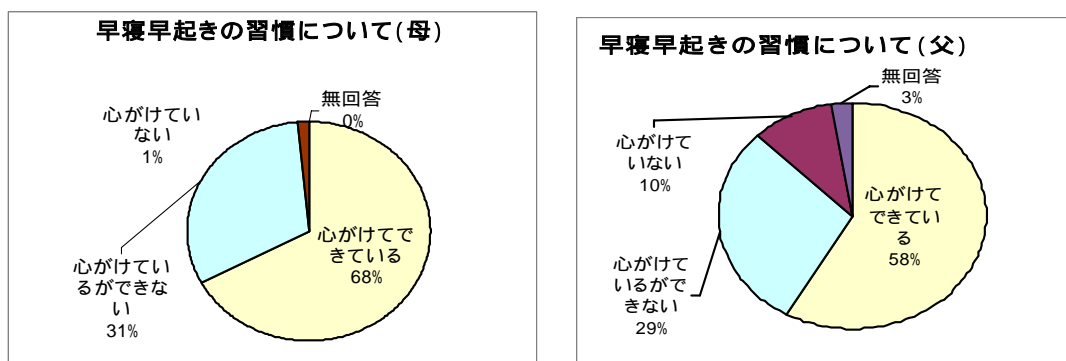
健診は、成長発達の確認の場であり、子育てに必要なかわりなどを知る貴重な機会であるため、今後も受診率の向上と内容の充実に努めると共に、未受診者の状況把握や対応など個々へのきめ細かい関わりが大切です。



健康推進課「H23年度保健業務と衛生統計」

早寝早起きなど生活リズムが整っていない子どもが増えています。また、3人に1人の親が「心がけていても実行できない」と回答しています。

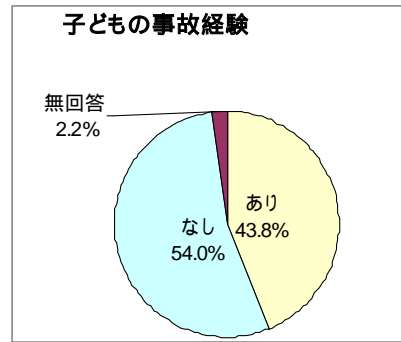
3歳児健診での聞きとりでは、22時前に寝る子どもの割合は81.2%にとどまっています。また、早寝早起きを心がけている親の割合は母で98.6%、父で87.4%です。しかし、心がけていても実行できていない親が約3割います。乳幼児期は、生活習慣の基礎を作る大切な時期であるため、親がまず意識して、実行に結びつく支援が必要です。



平成23年度「健康づくり計画策定のためのアンケート調査」

事故経験者が増加しています。

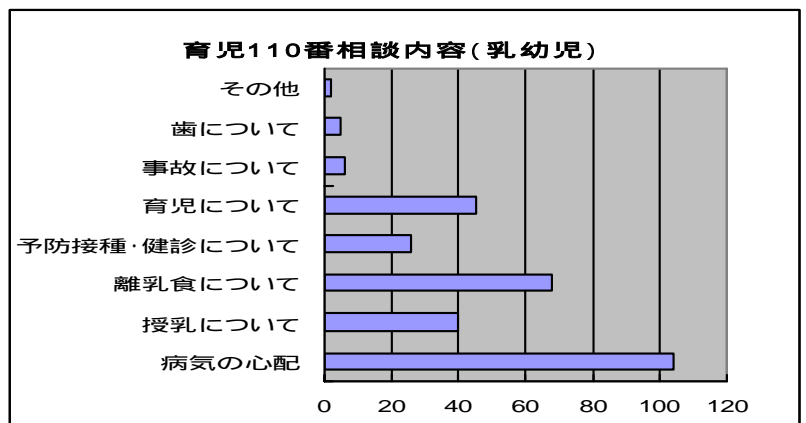
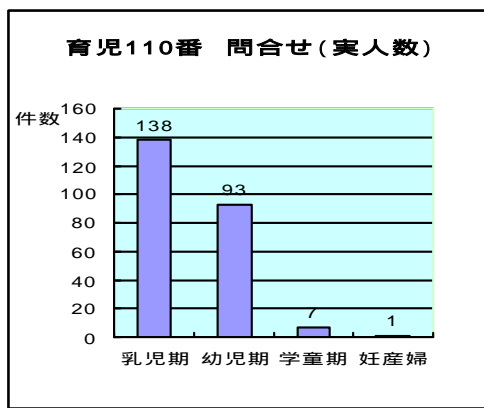
子どものけがや思わぬ事故にあったことは約 44%の親が経験しています。今後も事故予防についての啓発が必要です。



平成 23 年度「健康づくり計画策定のためのアンケート調査」

育児相談・支援を必要とする人は増加しています。

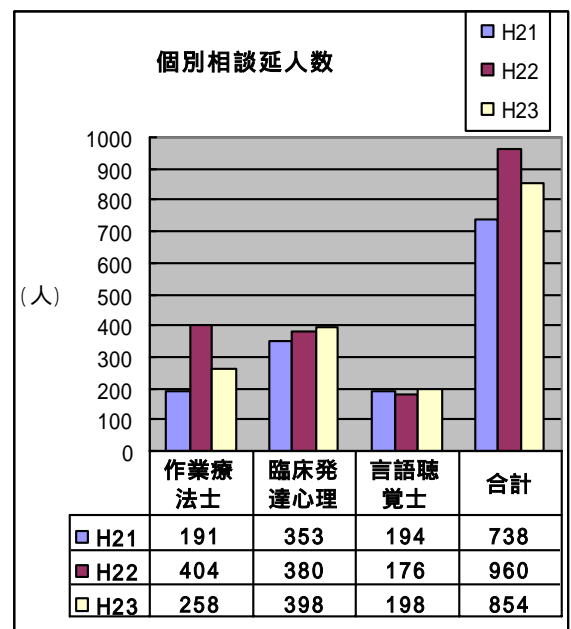
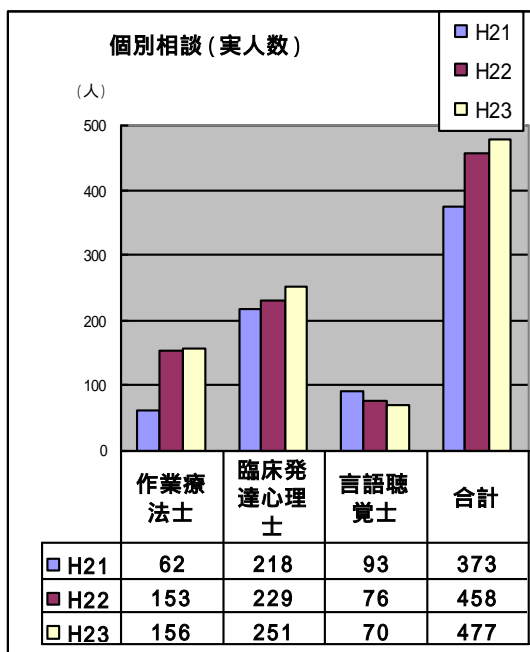
育児 110 番の相談件数は乳児期と幼児期に最も件数が高くなっています。相談内容は病気の心配、次いで離乳食の心配、育児についてとなっています。



健康推進課「H23 年度保健業務と衛生統計」

発達支援の必要な児が増加しており、新たな対応が必要です。

作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士による専門相談の件数が増加しています。関係機関と連携した発達支援と対応が必要です。



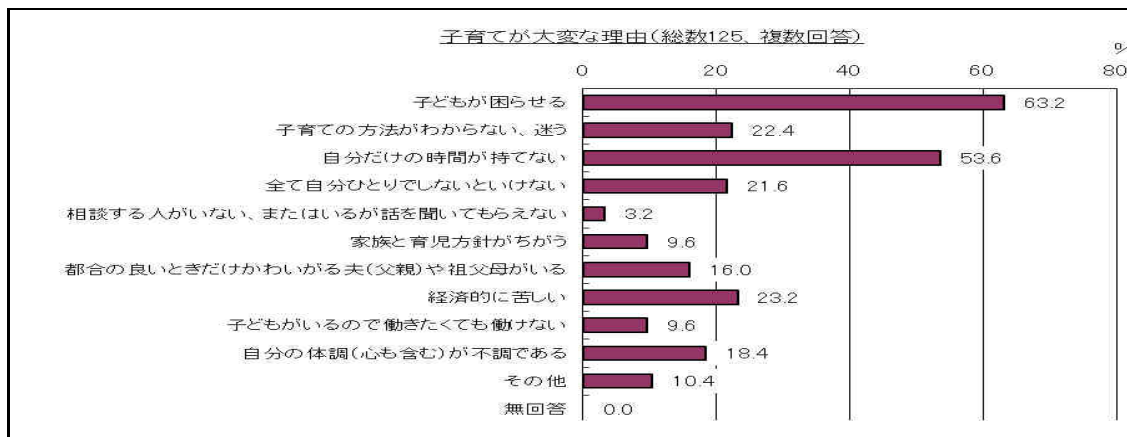
健康推進課「H23 年度保健業務と衛生統計」

3 育児を取り巻く状況について

育児が困難に感じた時や疾病や障がいを持った時に育児の支援体制があり、一人ひとりに安心して育児をするための正しい情報や支援体制の充実と周知が必要です。また、子育てのニーズを常に把握し、関係機関と連携した取り組みが大切です。

子育てが大変な理由は、「子どもが困らせる」が最も多く次いで「自分の時間が持てない」となっています。

子どもが困らせる理由は「よく泣く」「食べてくれない」「言うことを聞かない」などが多くなっています。育児の基本や子どもの接し方など具体的に伝えていく対的に支援が必要です。また、「自分の時間が持てない」も多く、関係機関と連携したサポートが大切です。

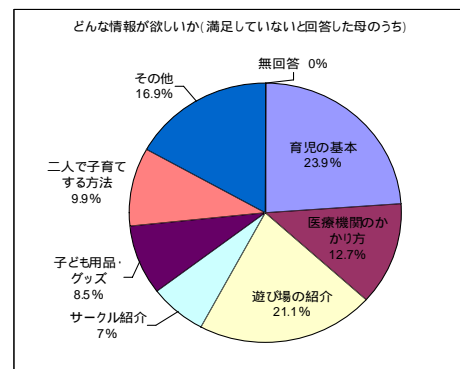
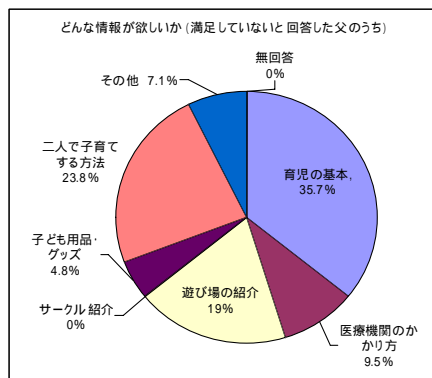
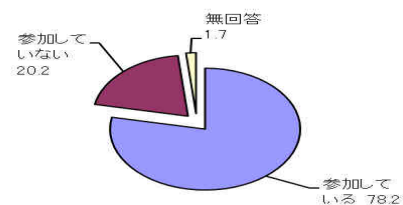


健康推進課「H23 保健業務と衛生統計」

積極的な育児参加をしていると約8割の父親が考えています。

育児情報で欲しいものは「育児の基本情報」が最も多く、次いで父親では「二人で子育てする方法」が23.8%、母親では「遊び場の紹介」19%となっています。

育児に積極的な参加をしていますか(総数119、単位%)



平成23年度「健康づくり計画策定のためのアンケート調査」

親と子

施策の展開

目標：子どもが愛情に包まれて、心身ともに健やかに育つ。

目標達成に向けて：

妊娠に対する正しい知識を得て、望まない妊娠を防ぐことができる。

妊産婦の身体の変化や生理を知り、母子共に健康で安全な出産ができる。

子どもが個々に応じた心身の成長ができ、健康的な生活習慣を身につけ健やかに育つ。

| 個人 が心がけること | 行政・保健・医療関係者等 が取り組むこと |
|--|--|
| <p>命の尊さ、命を育むことの大切さを知り、望まない妊娠を避けることができる。</p> <p>妊娠中の心と身体の変化を知り、母体や胎児への影響を考慮して、健康管理ができる。</p> <p>子どもの年齢に応じた心身の成長を知り、子どもにあった接し方や行動ができる。</p> <p>子どもの頃から健康的な生活習慣を身につけることができる。</p> <p>安心して育児ができるために、正しい情報や支援体制を知っている。</p> | <p>思春期の健康づくりに関する正しい知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none">・健全な母性父性の育成と啓発と健康教育等の実施 <p>妊娠・出産をめぐる知識の普及啓発及び相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・母子健康手帳交付時の健康教育、保健指導充実・父親のための育児支援の実施・喫煙の害に対する啓発 <p>全ての子どもが健康で個々に応じた成長ができるための知識の普及啓発と、適切なかわりの啓発</p> <ul style="list-style-type: none">・こんにちは赤ちゃん訪問による全戸訪問・乳幼児健診の充実・健康教育、保健指導、個別相談等の実施・未受診者の受診勧奨、状況把握と対応・相談事業の充実・予防接種の接種勧奨・事故予防、応急処置等についての啓発 <p>病気や障がいがある場合の療育支援体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・相談・療育体制の充実 <p>生活習慣病発生予防のための正しい知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none">・健康教育・保健指導の実施 <p>子育て中の母親が安心して子育てができる環境及び体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・育児の基本情報の提供・関係機関との連携 |

達成目標指標（案）

| 項目 | 現状値 | 目標値 | 目標値設定の基準 |
|---|----------------|------|----------|
| <p>安全な妊娠、出産に対する意識の向上と健康管理に取り組むことができる人の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避妊方法を知っている高校生の割合 | 57.1% | 増加 | 市 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 12週以降の妊娠届出者の割合 | 7.1% | 減少 | 市 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 両親学級参加率 | 70.8% | 増加 | 市 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦喫煙率 | 8.9% | 減少 | 市 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 低出生体重児出生率 | 9.7% | 減少 | 市 |
| <p>乳幼児健診受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4か月児健診 ・ 3歳児健診 | 94.8% 91.9% | 100% | 市 |
| <p>生活リズムの整っている子どもの増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝朝食を食べる子の割合 3歳児 | 99.1% | 100% | 市 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 22時前に寝る子どもの割合 3歳児 | 81.2% | 100% | 市 |
| <p>安心して育児できるための情報や支援を知っている人の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児情報に満足している父親の割合 ・ 育児情報に満足している母親の割合 | 63.0% 47.4% | 増加 | 市 |